

夏一首舟 菅家

此のいぢりねどもせりらへむも向い
 いづれみき 神乃あか
 左集舞渡の都に余菅家ハ野の天神の御子なり
 朱衣冠ふらふ存一の時を向ひの岸に供奉せむ
 ありて海を渡る舟を言て波を向ふ右側をんと
 此のいぢりねどもせりらへむも向い
 たむらわれば神のみまみあふとまきかへ随々のこと





Xrite ColorChecker® Color Rendition Chart